

令和2年度鶴見区運営方針



概要版

鶴見区マスコットキャラクター「つるりっぷ」

大阪市鶴見区役所

鶴見区運営方針とは……

- まちづくりの指針となる「鶴見区将来ヴィジョン」の単年度ごとのアクションプランとなるものです。
- 鶴見区における「施策の選択と集中」の全体像を示す方針として策定しています。
- 鶴見区の課題解決のための取組みについて示しています。



★鶴見区がめざすこと★

つながり、ふれあい、みまもり、支えあう、
だれもが安心して暮らせるまち

★鶴見区の役割★

一人ひとりの人権が尊重され、だれもが自分らしく安心して暮らすことができるやさしさとぬくもりのある地域社会の実現にむけて、区内の実情や特性に即した施策・事業を総合的に展開する。

重点的に取り組む経営課題・戦略・具体的取組



経営課題1 だれもが地域で安心して暮らせるまちづくり

○地域共生社会の実現

- ・地域福祉力の向上
- ・認知症への理解を深めるための取組【新】

○健康づくりへの支援

- ・健康増進意識の向上

予算見込額
28,775千円



経営課題2 子育てを応援するまちづくり

○安心して子育てできる環境づくり

- ・切れ目のない子育て施策の推進
- ・児童虐待防止対策【新】
- ・こどもに寄りそう事業

予算見込額
26,303千円



経営課題3 まなびを応援するまちづくり

○まなびを通じたつながりづくり

- ・生涯学習の推進
- ・花と緑豊かな環境の推進【新】
- ・人権教育の推進

○学校教育の支援

- ・教育支援の充実

予算見込額
18,505千円



経営課題4 安全なまちづくり

○災害に強いまちづくり

- ・防災意識の向上(自助)【新】
- ・地域防災・減災力の向上(共助)【新】
- ・区災害対策機能の強化(公助)【新】

○街頭犯罪・交通事故の少ないまちづくり

- ・地域・関係機関と連携した防犯対策
- ・地域・関係機関と連携した交通安全対策

予算見込額
14,610千円



経営課題5 地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

○地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

・地域活動協議会による自律的な地域運営の促進【新】

予算見込額
16,021千円



地域共生社会の実現

地域福祉力の向上

○住民の身近な相談窓口となり、必要に応じて関係機関との連携を図る。

- ・各地域に地域福祉コーディネーター(つなげ隊)を配置

○つなげ隊と個別にヒアリングを行い、区政会議でいただいた意見等をつなげ隊に伝えとともに、各地域ごとの状況を聞き、連携強化について検討する。

○つなげ隊へのアドバイスやスキルの向上、情報の提供など、総合的な地域福祉推進に係るコーディネートを行う。

- ・専門的知識等を有したコミュニティソーシャルワーカーを配置

○住民同士の助け合い活動の支援、並びに地域資源の発掘、育成を図る。

- ・地域有償ボランティア活動(あいまち)の実施

取組によりめざす指標

- つなげ隊が対応した「地域住民等からの相談」件数:
2,000件/年以上
- 地域有償ボランティア活動にかかる派遣数:
1,000件/年以上





地域共生社会の実現

認知症への理解を深めるための取組【新】

- 認知症サポーター養成講座の開催支援及び広報
- 高齢者への理解を深めるため認知症講演会等の開催
- 障がい者支援関連事業所の研修会・講習会等の開催
- 認知症に関する多職種連携グループワークを開催

取組によりめざす指標

- 認知症サポーター養成講座受講者数:500人【新】
- 高齢者や障がい者に対する理解を深めたと回答した講演会等参加者の割合:70%以上【新】





健康づくりへの支援

健康増進意識の向上

○関係団体と協働し、運動習慣づくりや食生活の改善など、区民の自主的な健康づくりを進めるため、幅広い年齢層が参加できるイベントを開催する。

- ・健康まつりの開催
- ・食育フェスタの開催
- ・健康に関する講演会の開催
- ・食育に関する調理実習の開催
- ・ウォーキング教室の開催
- ・ウォーキングカレンダーの発行
- ・百歳体操の継続実施に向けた支援
- ・地域・関係機関等と協働で健康づくりを実践できる場の提供

○「栄養・食生活」「運動」「たばこ」等、さまざまな健康に役立つ情報発信に取り組む。

- ・広報紙・ホームページ、フェイスブック、啓発チラシの配布
- ・がん検診・乳幼児健診など区が実施する保健福祉事業の際に啓発実施

取組によりめざす指標

「健康まつり」、「食育フェスタ」の参加者：
800人以上





安心して子育てできる環境づくり

切れ目のない子育て施策の推進

○関係機関等と連携した、子育て層が気軽につどい、交流できる場の提供

- ・「愛 Love こどもフェスタ」の開催
- ・「つるみっ子ルーム」の運営
- ・子育てサロン、つどいの広場等への支援

○子育てに不安感や負担感を持っている保護者等に対する相談、支援の実施

- ・子育て講演会の開催
- ・つるみっ子ルームや子育てサロン等での保育士等による育児相談等の実施
- ・拡大子育て支援連絡会の開催

○子育て関連情報の発信

- ・授乳やおむつ交換のできるスペースを備えた施設の周知（赤ちゃんの駅事業の普及啓発等）
- ・「子育てマップ」「愛 Love こどもニュース」「すくすくカレンダー」等の発行
- ・フェイスブック、ツイッター等を活用した子育て情報の発信

○区内保育施設情報の発信や保育環境の充実

- ・幼稚園・保育所等情報フェアの開催
- ・子ども園ネットワーク事業や私立保育園との意見交換会の実施

取組によりめざす指標

- 子育て支援事業の利用者で当該事業が役に立ったと答えた人の割合：85%以上
- 子育てに関する相談窓口を知っている子育て世帯の区民の割合：85%以上
- 子育てに関する必要な情報が入手できていると感じている子育て世帯の区民の割合：75%以上



安心して子育てできる環境づくり

児童虐待防止対策【新】

- 重大な児童虐待ゼロに向けた体制の充実
 - ・臨床心理士・保育士等の専門職を配備し、家庭訪問等による子育てに関する助言や関係機関へのつなぎ等の支援
(就学前こどもサポートネット事業)【新】
- 児童虐待防止啓発、状況に応じた支援・相談対応
 - ・啓発活動
 - ・各種イベント・事業開催時に、通告や相談を促す内容のチラシ・啓発グッズを配布
 - ・ホームページ、ツイッター等での啓発
 - ・児童虐待防止に関する講演会の開催
- 状況に応じた支援・相談対応
 - ・関係機関との連携
 - ・拡大子育て支援連絡会の開催(再掲)
 - ・主任児童委員、学校との連携強化、講習会の開催
- 要保護児童の早期発見
 - ・安全確認ができない未就園児等の全戸訪問

取組によりめざす指標

- 重大な児童虐待ゼロ【新】





安心して子育てできる環境づくり

こどもに寄りそう事業

- 普通教室で授業等が受けられない児童を対象に、別教室等で個々の児童の課題に即した学習指導・支援を実施
 - ・区内12小学校

- こどもの居場所づくり等を実施している事業者・団体に向けた支援

- ・「こどもの居場所ネットワーク会議」により、定期的な意見交換の場や情報の提供を行うなど、「こどもの居場所」事業の定着に向けた、事業者・団体への支援
- ・「こどもの居場所オープン会議」の開催
- ・広報つるみや区役所ホームページ等を活用したこどもの居場所情報の発信

取組によりめざす指標

学習支援等により
登校状況や学習面で
効果が見られた
児童の割合：70%
以上

